

## 道南ディスタンス2025

### 【出場結果】

実施日 : 6月1日(日) 5000m  
会場 : 函館市・千代台公園陸上競技場  
出場者 : 坪井 響己 救仁郷 弓揮  
出場種目・出場者・リザルト

|     |          |          |
|-----|----------|----------|
| 氏名  | 坪井       | 救仁郷      |
| 種目  | 5000m    | 5000m    |
| 組   | 1組目      | 1組目      |
| タイム | 14'31"56 | 14'27"31 |
| 順位  | 21/27    | 20/27    |

### 【レポート】

東日本実業団陸上競技選手権も終わり、チームとしては6月28日(土)に予定される全国男鹿駅伝競走大会に向けてトレーニングを行っておりますが、4月末の日体大記録会 10000m で28分台の自己記録を更新し、勢いに乗る坪井と救仁郷の2名が、9月に山口県で行われる全日本実業団陸上競技選手権 5000m の標準記録である13分55秒切りを狙い、北海道函館市で行われた道南ディスタンス2025に出場しました。

5000mの部は、13分36秒台と13分49秒台のタイム設定でペースメーカーがリードすることがアナウンスされたため、目標タイムより速いペースとなりますが、坪井、救仁郷の両名は自己記録更新を狙って13分49秒を刻むペースでレースに臨みました。



13分50秒切りを狙うペースに食らいつく救仁郷



レース序盤に集団の中でレースの流れに乗る坪井

レース序盤は設定ペースよりやや速いペースで進み、坪井、救仁郷ともに集団の後ろでレースを進めたことで、1000mの通過が2分45秒台、2000mの通過が5分32秒台と逆に思い通りのペースでレースを進めることが出来ましたが、坪井はここで表情に余裕がなくなり、集団から離れ、快調な走りに見えた救仁郷も2400m過ぎで集団から遅れだすと3000m通過こそ8分24秒台で13分台を狙えるペースで通過したものの、以降は2名とも単独走となったことで大きくラップを落とし、救仁郷が14分27秒台、坪井が14分31秒台でのゴールとなりました。



苦しい走りの中、ラストスパートでゴールを目指す救仁郷





ハイペースで突っ込んだ走りをした分、後半は苦しい走りとなった坪井

## 【総 評】

今回レースに臨んだ坪井、救仁郷は4月末に10000mで28分台の自己記録を更新し、東日本実業団陸上競技選手権の5000mでも救仁郷が自己記録を更新する14分2秒台、坪井が14分14秒台と力のある走りを見せていたため、今回のレースでは2人揃って5000m13分台の走りを期待していましたが、現状ではゴールタイムの設定が13分50秒を切るようなハイペースで突っ込んで結果を出せる程の力は無かったと実感させられました。

今回レースを経験して得た課題をもって、秋口には確実に5000m13分台で走り、坪井、救仁郷にはチームを引っ張っていくエースとしての走りに期待をしたいと思います。

チームとしては6月28日に開催される全国男鹿駅伝競走大会に出場を予定しておりますので、今回レースに出場した2名含め、大会当日にベストな走りができるよう、チーム一丸となって日々のトレーニングに邁進して参ります。

引き続き、皆さまの温かい声援を宜しくお願い致します。

画像提供：ELDORESO 阿久澤様

以 上